

2015年7月13日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

第6回スマホ未来コンテスト ～未来のケータイ・メディアをかんがえよう～

慶應義塾大学 SFC 研究所（所在：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス／所長：小川克彦）は、次世代のスマートフォンや新しいメディアを使って、未来の情報社会をより明るく、楽しく、優しくする作品やそのアイデアを、全国の児童・生徒・学生のみなさんから募集いたします。ぜひ貴媒体で告知してくださいようお願い申し上げます。

1. 第6回スマホ未来コンテスト概要

応募期間： 2015年7月1日（水）～9月30日（水）

応募資格： 6才以上の児童・生徒・学生（小・中・高校生、専門学校生、大学・大学院生など）

募集内容：

近い将来、あるいは、10年後、20年後、スマートフォンはどのように進化しているのでしょうか？新しいメディアは生まれているのでしょうか？「未来のモバイルメディア」についてアイデアを募集いたします（現在の技術では実現不可能なアイデアでも可）。次のいずれかで表現していただきます。

- 「かたち」…形状をデザインしたもの（粘土、モックアップ、3Dデザインなど）※1
- 「機能」…働きを説明したもの（ポスター、スケッチ、アプリケーションなど）※2・3
- 「かたち」と「機能」を組み合わせたもの

※1… 粘土、モックアップなど、立体の作品の場合、郵便または宅配便で送付可能な範囲の大きさで作成すること。また、そのアイデアの概要文（A4サイズ1枚、様式自由）と一緒に提出すること。

※2… ポスター、スケッチなど、平面の作品の場合、最大A1サイズ1枚にすること。様式自由。作品は、原本での提出を歓迎するが、画像ファイルの形式でも可。

※3… アプリケーションなど、ソフトウェアの作品の場合、スマートフォン上で動きが確認できる形式にすること。「ネイティブアプリ」、「ウェブアプリ」、「Flashアプリ」、画面遷移がわかる「パラパラ漫画」、いずれの形式でも可。また、そのアイデアの概要文（A4サイズ1枚、様式自由）と一緒に提出すること。

応募方法： スマホ未来コンテストウェブサイト (<http://sdc.sfc.keio.ac.jp/>) よりご応募いただきます。（応募作品はオリジナルのものに限る。ただし、既発表でも可。）

協賛企業： ソフトバンク株式会社、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社

2. スマホ未来コンテスト選考について

第一次審査結果： 2015年11月9日（月）までに電子メールで通知。

最終審査および表彰： 2015年11月に東京ミッドタウンで開催されるSFC Open Research Forum 2015において開催。第一次審査通過作品の作者の方には、11月21日（土）に、最終審査会場へお越しいただきます（遠方からお越しの場合には、日本国内における交通費を一部補助。詳細は事務局から電子メールで連絡）。

3. 実行委員長 徳田英幸（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員長）のコメント

いつも私たちと一緒に動き、私たちの行動を支援してくれる未来のモバイルメディアは、どのような形や機能を持ったモノに進化すべきでしょうか？ スマートフォンの負の部分無くし、プラスの部分をさらに増幅していくには、どのように進化させていくべきでしょうか？ 今回は、未来のモバイルメディアのあるべき形と機能を、モックアップ、3Dデザイン、ポスター、アプリケーションなど様々な形式で全国の小学生から大学院生を対象に募ります。これからの社会を担うデジタルネイティブの若い人たちの創造性を、ぜひ、本コンテストを通じて実感していただきたいと思っております。

本件に関する報道関係からのお問い合わせ

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当 スマホ未来コンテスト事務局（担当：西村）

TEL:0466-49-3436 E-mail:sdc@sfc.keio.ac.jp